

アイジョウ

議会だより

No. 121

2025.7.31



岡山県 里庄町議会



▲過去の議会だよりはここからご覧になれます。

★バトンをつないで（東小学校）

令和7年度補正予算は 全会一致で可決

その他議案も全て原案通り可決されました。

一般会計の主な補正予算

定額減税補足給付金

3100万円

法人町民税過誤

納付金

660万円

昨年給付した定額減税補足給付金について、令和6年分の所得税額などで再計算した結果、本来給付すべき額が不足していた人や所得税及び住民税所得割が0円で、定額減税の対象にならなかった人で、かつ低所得世帯向け給付の対象ではなかった人に対し給付するものです。

本来の徴収額より多く収めた法人町民税を還付するものです。

自治総合コミュニティー

助成事業助成金

240万円

堂迫分館において、草刈り機・机などの備品を整備するために助成するものです。



力を合わせて(西小学校)

6月

定例会

令和7年第4回定例会は、6月2日から6月9日までの会期で行われました。議案は条例の一部改正2件、令和7年度補正予算2件、報告4件が上程されすべて原案通り可決されました。

補正予算については、予算決算委員会に付託され審査を行いました。一般質問には7人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

6月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	65億7902万円	(4525万円)
国民健康保険特別	11億1516万円	(13万円)

町条例

里庄町税条例の一部改正
給与収入が123万円を超え188万円以下の19歳から23歳未満の親族を扶養する納税者に対し、新たに特定親族特別控除を設け、令和7年分の所得にかかる令和8年度分の個人住民税から適用します。

議長あいさつ



里庄町議会議長

平野 敏弘

町民の皆さまには、日ごろより里庄町議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、私たち両名は、5月臨時会におきまして、議長・副議長に選出されました。重職に就き、身に余る光栄であると同時に、その任務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、社会経済情勢がますます不安定になる中、

当町においても、少子・高齢化対策、医療・福祉対策、防災対策など山積する課題について、解決に向けた政策を着実に推進していかねければなりません。

また、議員一人ひとりが役割を十分に果たし、町民の皆さまの声を町政に反映させることができよう、積極的に政策立案や提言などに取り組んで参りたいと存じます。

の発展と町民福祉の向上に全力を尽くして参ります。

また、議員一人ひとりが役割を十分に果たし、町民の皆さまの声を町政に反映させることができよう、積極的に政策立案や提言などに取り組んで参りたいと存じます。

結びに、町民の皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念して、就任のごあいさつとさせていただきます。

の発展と町民福祉の向上に全力を尽くして参ります。



里庄町議会副議長

仁科 英麿

第3回

臨時会

5月8日、令和7年第3回臨時会が開催されました。議長及び副議長並びに各委員会・一部事務組合の構成が決まりました。

常任委員会

総務文教委員会

委員長 難波 啓祐
副委員長 佐藤 耕三
委員 平野 敏弘
委員 岡村 咲津紀
委員 小野 光章

議会広報編集委員会

委員長 佐藤 耕三
副委員長 岡本 貴之
委員 仁科 千鶴子
委員 田辺 博樹
委員 難波 啓祐

建設福祉委員会

委員長 仁科 千鶴子
副委員長 田辺 博樹
委員 眞野 博文
委員 仁科 英麿
委員 岡本 貴之

一部事務組合

岡山県西部環境整備施設組合
佐藤 耕三
田辺 博樹

岡山県西部衛生施設組合
眞野 博文
小野 光章

予算決算委員会

委員長 眞野 博文
副委員長 岡本 貴之
委員 平野 敏弘
委員 岡村 咲津紀
委員 仁科 英麿
委員 小野 光章
委員 仁科 千鶴子
委員 佐藤 耕三
委員 田辺 博樹
委員 難波 啓祐

岡山県西南水道企業団

岡村 咲津紀
難波 啓祐

笠岡地区消防組合

仁科 千鶴子
岡本 貴之

監査委員

岡村 咲津紀

専決処分

里庄町税条例の一部を改正する条例

総排気量が125cc以下で最高出力が4キロワット以下（現在の原付バイク程度）の二輪車にかかる軽自動車税種別割の税率を年額20000円にします。

里庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険の基礎課税額を65万円から66万円に後期高齢者支援分の賦課限度額を24万円から26万円に引き上げます。
均等割と平等割の軽減措置について、5割軽減の対象世帯の算定加算額を一人当たり29万5000円を30万5000円に、2割軽減の算定加算額を一人当たり54万5000円から56万円に引き上げます。

くりこしめいきよ

繰越明許質 疑

※繰越明許とは…歳出予算の経費のうち、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に限り繰り越して使用する経費をいいます。

里見716号線の安全対策は

仁科英議員 繰越事業の

うち、農林事業の5978万円は、どこがどういう理由で遅れているのか。

農林建設課長 ①岩村地区の指田川第2堰。

現在、7月末を目標に、

工事を行っている。

②浜中地区の井溝川整備。

設計に時間がかかった。

今後、出水期が終わった後の工事になる。

③林・土井地区の妙見川の整備。

5月末で工事は全て終了している。

仁科英議員 道路の2800万円は、どこか。

農林建設課長 ①里見716号線の安全確保のための予算。

今後、路面標示など必要になった場合の費用。

②殿迫地区の里見227号線で国道2号から広池方面へ入っていく道路は

5月末に工事は完了している。

③金山地区の新庄613号線。現在、建設中の焼却場へ上がっていく道路

の横の水路。

仁科英議員 里見716号線の安全対策としていくらかあるのか。

旧国道、トク1号線の交差点の安全対策や229号線なども含めての安全対策という意味か。

考え方は。

農林建設課長 300万円を考えている。町民、学校関係の人から、今後このような対策が取れないかなど、具体的な要望が出てきたら、協議をして、予算内で全て含めて、安全確保をしていきたい。

予算決算 委員会

一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算は、6月5日予算決算委員会に付託され、関係当局の説明を聴取しながら慎重に審査しました。

問 定額減税補足給付金3100万円の内訳は。

答 前年度対象者のうち、扶養親族が増えた人及び所得が減少した人に対し、3万円を900人に支給する。

また、青色申告者の配偶者において対象外だった人に対し、4万円を100人に支給するように計上している。

問 自治総合コミュニティ事業はこの分館が、どのように利用したのか。

答 堂迫分館が自走式草刈り機1台、刈刃式草刈り機を3台、他に机など購入した。

問 自治総合コミュニティ事業の申告が難しいが、簡潔にできないか。

答 町に相談してもらえば申告の方法をわかりやすく指導している。

委員長報告

定額減税補足給付金の3100万円の内容についての質疑に対し、令和6年分所得税額及び定額減税の実績額等が確定した後、本来給付すべき額との差額が生じた人に1人3万円を900人分。

また、本人及び扶養親族等として定額減税対象外であり、かつ低所得世帯向けの給付の対象世帯の世帯主、世帯人にも該当しなかった人に1人4万円を100人分。不足することがないよう多めに予算を組んでいるとの説明がありました。

一般会計補正予算、国民健康保険補正予算はともに全会一致で可決しました。



公共施設建替えに関する意見交換会

6月8日、中央公民館及び福祉会館の建替えに関する意見交換会がフロイデ電動中ホールで、行われました。施設を利用している団体から約40人が参加し意見交換が行われ、議員7人が参加しました。
意見交換会で出された意見は以下の通りです。

- ◆防音・音響、照明、空調、WiFi設備やバリアフリー設備の充実、開放的な窓がほしい。
- ◆必要に応じ動きのわかる大きい鏡や天井ウェブカメラやプロジェクターの設置。
- ◆ロッカールームの設置および鏡の設置。
- ◆展示物を置けるスペースや収納スペース、軽食など飲食ができるフリースペースの確保。
- ◆パーテーションによる用途にあった使い方の可能な部屋や土足のまま施設利用ができるようにしてほしい。
- ◆調理室には流し台・レンジ他IH調理器具の設置。
- ◆備品については、移動などを容易にするために、キャスター付の机や軽量のいすの配置。
- ◆屋上の有効利用・EV車に対応できる充電機器やシェルターの機能を備えた地下室。
- ◆建物以外では土や草木など自然と触れ合える場を求める意見もありました。



賛否表

○…賛成 ×…反対

議案名		議員名										議決結果
		小野光章	平野敏弘	岡村咲津紀	眞野博文	仁科英麿	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐	岡本貴之	
臨時会	5月	議案第23号	専決処分の承認を求めること	議長	○	○	○	○	○	○	○	承認
		議案第24号	専決処分の承認を求めること		○	○	○	○	○	○	○	承認
		議案第25号	監査委員の選任		○		○	○	○	○	○	同意
定例会	6月	議案第26号	里庄町税条例の一部改正	議長	○		○	○	○	○	○	可決
		議案第27号	里庄町地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正		○		○	○	○	○	○	可決
		議案第28号	令和7年度里庄町一般会計補正予算(第1号)		○		○	○	○	○	○	可決
		議案第29号	令和7年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		○		○	○	○	○	○	可決
		報告第1号	令和6年度里庄町一般会計繰越明許費繰越計算書	報告のみ								
		報告第2号	令和6年度里庄町水道事業会計予算繰越計算書									
		報告第3号	令和6年度里庄町公共下水道事業会計予算繰越計算書									
		報告第4号	里庄町土地開発公社の経営状況の報告									

注) 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

6月定例会

一般質問

町政を問う

7人の議員が登壇して質問!

岡本 貴之 議員.....7P

- ① 浜中バイパス北側にも右折矢印信号の設置を

平野 敏弘 議員.....8P

- ① 仁科芳雄生家のクラウドファンディングは
- ② 町道やため池の草刈りは

難波 啓祐 議員.....9P

- ① 第4次里庄町振興計画(後期基本計画)は

佐藤 耕三 議員.....10P

- ① 町道716号線供用後の状況と自転車の走行は
- ② マイナ保険証と資格確認書の交付は
- ③ 補聴器補助制度は

田辺 博樹 議員.....11P

- ① 次期町長選は
- ② 廃屋、荒廃農地の問題は

仁科 英麿 議員.....12P

- ① 高岡及び池田・大所・松尾地域における雨水排水のためのポンプアップは
- ② 新ごみ焼却施設と熱処理施設の今後の運営・管理のあり方等は

仁科 千鶴子 議員.....13P

- ① ほっとルームの設置は
- ② 下水道管の調査実施結果は

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

岡本 貴之 議員



浜中バイパス北の交差点

町長／必要な要望については
県や県警にしっかりしていきたい

通勤や買物、また日常生活において便利に利用されている浜中バイパス。JR山陽本線に沿って大きく迂回していた県道園井里庄線、JRで分断された南北地域の連絡を改善するため、JRをアンダーパスして国道2号線へ短絡するバイパス道路の整備がされ、令和5年3月5日に供用が開始された。浜中バイパスが整備されたことで南北地域間のアクセス性が向上し、自動車、自転車、歩行者の安全性も確保され、国道2号線へ出る場合も右折矢印信号もあり、スムーズな運用ができています。しかし、北の県道28号園井里庄線の交差点には右折車線用信号はなく、通勤時、特に帰宅ラッシュ時には北から浜中バイパスを通る車が多いことから、2号線から浜中バイパスを通ってきた車が信号で右折する際に二・三台程度しか進めないことがよく起きている。

問

県道288号園井里庄線の交差点に右折矢印信号の設置はできないか。

農林建設課 長

町の地区懇談会などでも同様な要望を受けている。

岡山県警察に確認をしたところ、右折矢印信号を設置する条件の一つとして、南北両方向に右折レーンの設置がされていることが条件の一つとなっており、北側には車両が数台しか止めることができないため、右折矢印信号の設置は道路構造上できないとのこと。

また、岡山県に確認をしたところ、現段階において本交差点の南進の右折レーンを設置する予定は現在のところないというところだが、玉島笠岡道路の供用開始後の交通量とか今後の通行状況を注視していくとのこと。

問

笠岡市側から里庄駅方面に向かう場合には右折専用レーンがない。

西から東に進行する交差点に右折専用レーンは設置できないのか。

農林建設課 長

この道路管理者は笠岡市になる。笠岡市に確認をしたところ、笠岡市内の絵師地区にある今立川踏切が令和8年3月31日に自転車を除く車両の通行規制となることに伴い、浜中バイパス交差点を利用する車両の増加が想定されるため今後、交差点改良を行う予定であり、右折レーンの設置を行う計画で現在進めているとのこと。

問

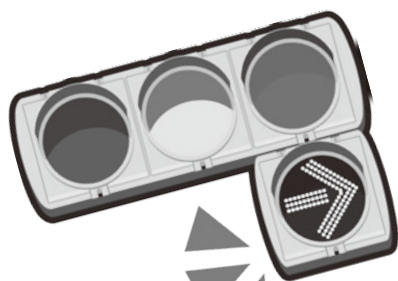
交差点の今後の見通しや右折信号のことなど、どう思っているのか。

町長

浜中バイパスの交差点は、東西南北の交通の要であると考えている。

地区懇談会でも、右折がスムーズにできないかということも聞いており、県にもお願いをしている。

先ほど西から東へ行く場合の右折レーンを今度笠岡市が整備するということではスムーズになるのかなと感じているが、引き続き安全と交通の流れをよく考え、確保できるように町としても注視をしながら、必要な要望については県や県警にしっかりしていきたい。



クラウドファンディング

目標額5億円は

企画商工課長／約5割を修理費に充てる



平野 敏弘 議員

問

仁科生家の現在の状況は。

教委事務局 長 昭和53年に町が譲り受け修復し、一般公開している。修復から40年以上経過しており、傷みが大きくなっている。

問

修繕費用の予算を年間どのくらい組んでいるのか。

教委事務局 長 年間50万円を予算計上している。

承していくものと考えている。

修復については、建築当時の技法を用いて行う計画としている。

問

仁科生家の一か月の見学者は、平均何人くらいいるのか。

教委事務局 長 年間873人で、月平均約73人となっている。

問

クラウドファンディングの目標額が5億円となっており、修理費用には多額だと思うが、修理以外にも何か目的があるのか。

企画商工課 長 修理以外の目的はない。寄付金は、約5割の経費を除いて事業費に充てることとしている。

問

クラウドファンディングの期間が終了し、修理の構想が出来上がった時には、議会に報告してくれるのか。

教委事務局 長 期間終了後、最終的な修復方法が出来上がった段階で議会に報告したいと思っている。

問

定期的な点検や修理など行っているのか。

教委事務局 長 教育委員会や仁科財団の職員などによる定期的な巡回確認などを行っている。

何か対策は

農林建設課長／事業補助を活用して欲しい

問

町民も高齢化が進み、草刈り作業が難しくなっている分館もあると思う。

分館で出来ない所は、町で対応してくれるのか。

農林建設課 長 交通量の多い箇所やのり面の急な場所については、通行の支障にならない範囲で町が対応している箇所もある。

問

分館が毎年シルバー人材センターに依頼するのも、費用的な問題もあり、難しいと思う。

町では何か対策を考えているのか。

農林建設課 長 町道の草刈りでは、草刈機の燃料代の補助であるとか、水路やため池の草刈りについては、治水対策の事業補助があるので、活用していただきたい。



草刈り作業中

難波 啓祐議員



第4次振興計画（後期）は

町長／実効性のあるものに設定

問

第4次里庄振興計画（後期）は、

町長

この計画は前期5年、後期5年で策定し、過去の事業の検証や、今後の社会の動向を見据えながら実効性のあるものとなるように設定している。

問

小・中学校のプール授業で金山地区の熱処理施設の温水プールにはどのようにして連れて行くのか。

教委事務局 局長

現在の予定では、貸し切りバスの利用を考えている。

問

この施設は3市2町で運営するのであるから他の市町はどのようにするのか。

教委事務局 局長

利用意向のある市町が協議、調整をした上で利用を進めることになる。

問

ICT機器を毎日使用したと回答した生徒が小6が約33%、中3が約60%となっている。使用頻度が低い、なぜか。

教委事務局 局長

すべての授業でその機器を使わない場合もある。令和5年度の数値は、報告書を基に設定しているので、なかなか伸びていない可能性もある。

問

昨年度に電子黒板を導入しているし、タブレットとの連携で限りなく100に近づくのではないか。

教委事務局 局長

令和6年度の数値では、小学校81・6ポイント、中学校では、83・8ポイントになっている。現状ではすでに目標値の80%は達成している。今後は学校と連携・協力し、端末の有効利用を進めていきたい。

問

令和6年度のまこもたけ作付面積が、1・67haになったようだが、令和11年度の目標が2haになっている。減ってきているのに何か策はあるのか。

農林建設課 参事

生産者に対する補助制度の継続、広報誌やエフエムゆめウエーブなどを活用した、新規生産者の募集を行い、学校の授業、各種イベントを通して広く生産に興味をもってもらえるよう、引き続きPRに取り組んでいきたい。

問

キャラクターグッズのまこりんはあまり見かけなくなつたように思うが、里庄町のブランド。どうするのか。

町長

イメージキャラクターのまこりんは、ある程度定着しているし、成功していると感じている。

問

年間製造品出荷額というのがあがるが、これは企業任せだと思う。

町としてどのようにかわっていくのか。

企画商工課 課長

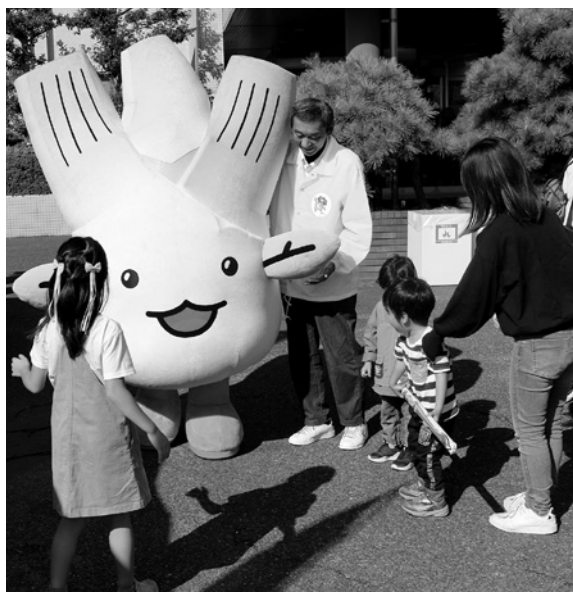
製造品出荷額の減少は、生産体制の変化、原材料価格の高騰、設備投資の抑制など複合的な要因が考えられる。商工会などと連携して、魅力ある地域資源の掘り起こしや、中小企業の経営資源による地域経済の活性化を行ってきたい。

問

企業誘致をする考えはあるのか。

町長

企業誘致については前向きに取り組んでいる。土地の問題、今ある企業の支援など設備投資をしやすい環境にも取り組んだ。新たな用地が確保できないか、しっかりと研究をしていきたい。



まこりんと一緒に

講習会を開いては

農林建設課長／現段階では考えていない

問

町道716号線が供用され、T字路が十字路になった。十字路を示す標識を設置できないか。

農林建設課長 今の段階で設置の考えはない。

問

自転車横断帯を望む声もあるがどうか。

農林建設課長 自転車や歩行者が多いことが基準なので、設置は困難。

問

基本的に歩道で事故が発生した場合、自転車側が全責任を取る。本来自転車の走行できる幅を確保できない歩道を通学路として推奨することを、どう考えるか。

農林建設課長

協議のうえで規制をかけているので今の段階ではいいと思っている。

問

多くの人が自転車のルールを知らないと感じる。

自転車の正確なルールについて講習会を開いてはどうか。

農林建設課長 町民・学生など、対象範囲もあり現段階では考えていない。

全ての人に資格確認書を

町民課長／現時点でその考えはない



佐藤 耕三 議員

問

昨年12月健康保険証が廃止され、マイナ保険証を持つていない人は資格確認が送付される。ただ、今年は75歳以上の人全てに資格確認書が送付される。

東京世田谷区、渋谷区では、年齢制限なく全てのの人に資格確認書を送る。里庄でも全てのの人に資格確認書を送っては。

町民課長

国が進めるマイナ保険証を基本とする仕組みに逆行するため、現時点でその考えはない。
今後とも国や他の自治体の動向を注視しながら、加入者が適切な受診ができるよう、資格情報を確認しながら対応していきたい。

交付金の研究を

健康福祉課長／前向きに研究

問

今年度から要介護の改善や高齢者の社会参加などの目的で、難聴高齢者の早期対応や普及啓発などに取り組んでいる自治体に対し、保険者機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金を交付している。

山形市では、認知症、フレイル、生活習慣病の予防に取り組むことで、高齢者の補聴器購入の際全額これらの交付金を充てている。

里庄でも研究しながら進めてはどうか。

健康福祉課長

国や他の自治体の状況を注視するとともに、山形市などを参考にしながら前向きに研究していきたい。

町長

フレイル予防にはこれからも力を入れていかないとけない。

一方で財政のことも考えなければならぬが、交付金を活用すれば可能な部分はあると考える。

問

以前、補聴器の補助については、どのような支援がどのような人にできるのかを考えていくということだった。

その後、町はどのような検討を行ったのか。

健康福祉課長

他の市町村の情報収集しながら補聴器購入に対する補助制度の必要性について検討を現在行っている。

田辺 博樹 議員



次期町長選は

町長／まだ決めていない

問

次期町長選出馬の意向はあるのか。

町長

現時点では決めていない。これから様々なことを考えながら、意思を固めたい。

問

もし次の4年間を担うとすれば、どのような町を考えているか。

町長

まだ決めていないので具体的なことは言えないが、基本的には振興計画に基づいて町づくりを進めていくことになると思う。

里庄をアルカディア、理想郷に

農林建設課参事／実現は困難

問

地価評価の障害ともなる廃屋、荒廃農地の問題があるが、コンパクトタウンの特性を生かして速やかに解決してはどうか。

農林建設課参事

この周辺には荒廃農地も多く点在しているが、果樹を地権者が自分で栽培することとは特に問題はないと考える。緑地化を目的として農地に芝を植えることは、農地法が定める農地としての利用目的には不適切と思われる実現は困難と考える。

問

画期的なまちづくりのために非常に識と見えるような破天荒なアクションをかける必要があると思う。町内の全廃屋を解体整地して更地にするには、コストはいくらと考えるか。

まち整備課長

建物の除却などに要する費用は、建物の規模や構造、接し

問

町内の荒廃農地を地主の承諾を得て整地、低木の果樹、例えばブルーベリーなどのいつでも植え替えができる、抜くこともできるような簡単な果樹を植える、または芝生地にするコストはいくらと考えるか。

農林建設課参事

ひと口に荒廃農地と言っても面積の大小、荒廃化の程度、荒廃する前の利用形態などの条件が異なる。

条件によって再生の費用は大幅に変わると考えるので、試算はできかねる。芝生については、農地利用目的として、適切でないと考えている。



インフラを活かせれば大きな可能性

高岡の雨水排水は

ポンプアップで

町長／改善したいという思いはある



議員 英磨 仁科

問

高岡の雨水排水対策について、一昨年の12月議会で質問したが、その後の検討結果は。

農林建設課長 効果的な方法は決定していない。

問

私は、京田川から里見川に流れ出るところでポンプアップする方法が一番よいと思うが、どうか。

農林建設課長 それも含めて、本当に効果的な方法を研究していきたい。

問

町内では4箇所です。その効果は、

農林建設課長 全てのポンプが効果を発揮している。

問

高岡では毎年何回か冠水して、通行できなくなっている。ある程度お金はかかるが、安全対策だから、行政として考えるべきでは。

町長 私も何とか改善したいという思いはあり、ポンプ設置も一つの方法とも考える。

里見川の河川整備計画が今年2月に策定され、これから整備が進んでいく中で、総合的に考えるければならない。

問

それによって自然に流れるようになるのか。

また、高岡公会堂周辺の流れが非常に複雑になっている。そういうところの改善などについても、考えを伺いたい。

副町長

あそこは、昔は遊水地だった。天草池が今は公園になっているが、その周囲には水路がある。かなり大量の水がそこを流れて京田川に入るの、浅口市との協議も必要。

問

公会堂より上流側も含めて流れを打っていいか。

最低公会堂から県道の南を直行して流れるようには、暗渠でも入れればできるのではないか。

農林建設課長 水の流れを変えたいときにどういう影響が出てくるか、今後研究していきたい。

問

里見川河川整備計画の策定状況は、今どうなっているか。

農林建設課長 2月10日付で国の同意があり、25日から県のホームページで公表されている。

問

内容は、里庄町関係分は、

農林建設課長 災害の発生防止、流水などの正常な機能の維持、河川の整備・保全に関することなどを定めている。

問

里庄町について具体的に盛り込まれていることはない。

里見排水機場の機能アップや下流への流量、護岸整備をお願いした経緯はある。

問

池田、大所、松尾地域の排水は、最長3日間は遊水地として使うぐらいの前提で管理していると聞いています。ここには大きな開発可能地域が残っており、それを活用したい時はいつでも排水できるように計画は作ってもらおうべきだと前から言ってきた。どう考えたらいいか。

農林建設課長 何日間溜めてもいいといった取り決めなどは、確認したが出て来なかった。

整備計画では排水量を変えて欲しいと要望し、載っていないが、里見排水機場は今の2・4倍の量で排水できるという考えで作成していると県から聞いている。

問

計画には、「管理上影響を及ぼす開発行為については、必要に応じて流出抑制対策の実施を事業者に指導する。」とある。

また、あの排水機場は、

「湛水防除事業」で、農業の水田を守るためのものにすぎない。今後はもう機能を変えていただくということになるが、大丈夫か。

町長 町としては、機能アップをお願いしてきた経緯があり、それを踏まえて進めてもらっていると考えている。

その他の質問 Q 今西部衛生が造っている新ごみ焼却施設などは、完成後は西部環境に引き継ぎ管理運営する体制はとれないか。

A すぐにはできない。一つの市や町の考えがそのまま通るかといえ、なかなか難しい。Q 住民の意識、効率性、施設の性格からどちらがいいか、吟味すべき。熱利用施設の利用料金は、何段階かにできないか。

A 里庄町民だけ減額することは考えていない。

仁科千鶴子 議員



ほっとルームの運営は

教委事務局長／関係機関との連携をとる

OKAYAMA夢につ

ながる学びプロジェクト

として、子どもたちに多

様な学びの場を用意する。

学校内に自立応援室、個

室を整備し、居場所を確

保する。多くの情報が溢

れている世の中、情報1

つで心が傷ついてしまう。

いつなってもおかしく

ない。安心して登校でき

る教室として、ほっとル

ームは設置された。

問

登校できない状

態にある生徒は。

小学校・中学校

にもいる状態で

あり、やや増加傾向にあ

る。

問

理由・原因その

対応は。

教委事務

局長 病気・学業不振

・友人関係・家

庭環境の悩みなどがあり、

個人によって状況は全て

異なっている。

子どもの理解、個別支

援、関係機関との連携を

柱に取組んでいる。初期

つている。

休みがちであれ

ば、タブレット

の使用を工夫する効果は。

状況によっては、

授業風景を流す

とか、メッセージを送っ

たりして繋がりを絶たな

いようにしている。

問

今後の予定は

上下水道課長／浜中国地から

問

担当の先生はい

るのか。

教委事務

局長 里庄西小学校に

自立応援室とし

て開設された。教室に入

りづらい子どもたちが、

落ち着いて過ごすことの

できる部屋になっている。

非常勤講師1名を配置

して8時15分から12時15

分まで。午後からは特別

支援教育コーディネータ

ーが対応する。

問

ほっとルームの

体制と運営は。

教委事務

局長 利用する場合は、

担当者、担任の

人、保護者が相談しなが

ら支援計画を立て、関係

機関との連携をしながら

運営をする。

一時的な利用も柔軟な

対応をしていく。

問



地域の人から
いただきました

問

里庄町の下水道

管・水道管の全

国一斉調査の実施の結果

は。

上下水道

課長 調査対象は、内

上、平成6年度以前に設

置であるため、里庄町は

調査対象の管路はなく、

下水道に起因した陥没も

ない。

水道管は調査の依頼は

ないが、日々監視システ

ムで夜間流量を監視し、

異常の確認をして早期発

見に努めている。大きな

漏水はない。

問

下水道法では、

5年に1回以上

点検が義務付けられてい

る。その結果は。

上下水道

課長 下水道供用開始

前にグリーンク

レストは平成14年から16

年、浜中国地、君が原は

平成17年から21年に全路

線力メウ調査を実施した。

不具合のあった箇所は

補修改築をしている。本

管約100箇所、公共ま

すは30箇所を修繕。

問

令和8年度から

の工事規模は。

上下水道

課長 耐震化を加味し

ながら、再度見

直しを検討する。審議会

問

耐用年数だけで

なく、軟弱地盤

が影響するので浜中から

重点的に調査するとある

が、今後の予定は。

上下水道

課長 浜中国地、グリ

ンクレストの

下水道については、マン

ホール内の点検調査、劣

化状況の把握・修繕改築

耐久性のないマンホール

蓋の交換を予定している。

水道は、引き続き下水

道工事に関連する水道管

更新工事を継続しながら、

令和8年度から浜中国地

内の更新工事を予定。

問

令和8年度から

の工事規模は。

上下水道

課長 耐震化を加味し

ながら、再度見

直しを検討する。審議会

シリーズ こんな活動 しています! 第19回

里庄町文化協会 健康吹矢部

文化協会健康吹矢部は平成19年創設致しました。現在の会員数は15人で楽しく練習しています。

的に向かって吹くという行為を通して腹式呼吸ができるようにと基本動作があります。簡単に紹介を致します。

- ① 的に向かって一礼
 - ② 構える
 - ③ 筒を上げる
 - ④ 息を吐く
 - ⑤ 息を吸う
 - ⑥ 吹く
 - ⑦ 息を整える
 - ⑧ 礼をする
- 以上の一連の動作を正しく行うことによって集中力が高まり、体に素晴らしい効果がもたらされます。

会員の中には喘息が改善された人もおられます。次に道具の紹介です。的は33センチの正方形の中に同心円で3センチ刻

みに7点5点3点1点です。120センチの筒の中に1グラムの矢を入れて6メートル以上離れた所から矢を5本吹き点数を競います。毎回点数を計算し頭の体操をしています。

毎月第1と第3火曜日から午後から福祉会館大ホールで練習しており、興味のある人は見学をどうぞお待ちしております。



《第121号》
令和7年7月31日 発行

発行/岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかき

沈思黙考

今年は戦後 80 年の節目の夏。
何ごともない、平和な日々が何よりありがたく感じます。

灼けつく暑さに疲れた夜は、心にとっとやさしく打ち水して、来し方行く末に、ひとり静かに思いをめぐらせてみてはいかがでしょうか。(田辺)



編集委員 委員長: 佐藤耕三 副委員長: 岡本貴之
委員: 仁科千鶴子 委員: 田辺博樹 委員: 難波啓祐

令和7年9月定例会は、9月1日(月)から始まる予定です。